

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	とっとランド海老名		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内活動のほか、外遊びや体験活動などが豊富。市民農園で野菜作りを行い農業体験、食育活動に力を入れている。	体験活動では周辺に公園や見学施設などが多く恵まれている為、行く場所を変えて様々な物にふれあい体験することで興味の幅を広げるよう心掛けている。 農業体験では、種まきから収穫までをみんなで食育に力を入れている。	自由遊びや見学だけで終わらせず、目的と達成があるものにする。 それぞれが育ててみたい野菜を取り入れてみる。
2	活動内容の充実。	製作活動で作った物で遊ぶ、ゲームをするなど、制作だけではなく遊びにつながる活動を意識している。遊びの中で自然とPDCAサイクルが回るように意識しています。	活動内容が固定化しないようにする。
3	保護者様との情報共有	日頃からSNS等を通じて共有を行っている。その日の過ごし方などについてもシステムを利用し写真等も併せてお送りしている。	面談の実施が少ない為増やしていくようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人数に対して活動スペースが狭い。	場所に対して大きな物がある、不要な物がある。	配置物の大きさなどを見直し、活動スペースを可能な限り広げられるようにする。
2	保護者交流会等の未実施。	職員の異動や人数等により実施することが難しかった。	職員の人数や参加者人数に左右されることなく、定期的な開催を行う。情報共有はSNS等を通じて行う。
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	とっとりランド海老名		公表日		2026/2/27	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	活動スペースを確保するために物の出し入れなどを行っている。1Fと2Fのスペースでわけている。	配置物の大きさや配置の見直しを行う。1人当たりのスペースが狭い。活動の時間には窮屈に感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	送迎時間を調整したり休憩時間を変更したりして対応している。	急な休みややむを得ない事情で職員が足りないときがある。職員が手薄になる時間帯があることもある。不足していると感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	目で見えるようにイラスト等を貼付している。	玄関の階段が急な為危険と感じる。手すりなどが必要。通路が狭い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	清潔に保つよう努めています。	壁に穴がある箇所があるので補修が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	必要に応じてどちらかを使用する。	1F2Fに1部屋ずつしかない為個別の部屋の確保が難しい。もう一部屋クールダウンできる部屋があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	日々の振り返りを終礼時に行っている。	全員が参画できる定期的な振り返りが必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	内容を職員間で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼終礼時に意見交換などがあれば行い、内容について全員で話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		事業所への評価を頂く機会は少ないと感じる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人内の研修がある為参加している。	業務時間内に行うことが難しいこともあり全員に周知できていない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	職員全員で相談作成し、HPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	職員間で相談し行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間で相談し行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	必要なときに計画を見直し職員間で共有しながら支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	行動観察を怠らず小さなことでも職員間で共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	支援計画の流れに沿って行えるよう心掛けている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員の提案で出来るようになってきている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	職員間で話し合い固定化しないよう心掛けている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	フリータイムの時間等を利用して個別活動をおこなっている。	集団がメインになっていて個別活動との組み合わせがなかなかできていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼時に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼時に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	システムで記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	定期的に行っている。必要と感じた際には職員間で話し合い見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が職員間で共有している事項も併せて参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	連携体制は整えられている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	担当者会議等を通じて情報を共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	担当者会議等を通じて情報を共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	外部研修などは参加出来る時は参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現状交流の機会を設けられていない。イベント
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時やシステムを通じて行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		案内があった際にはご家族に情報共有を行うようにする。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談を行いご意見及びご要望を聞き取り作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	面談を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時に相談があった際などに対応している。その中で面談が必要と感じた際には面談を実施している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		現状開催できていない。定期的に開催できる様検討する。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があった場合には迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPのブログ、インスタグラムなどで発信している。	更新の頻度を増やしたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	契約時には個人情報の取扱いの誓約書を交わしている。個人情報関連の書類は鍵付きの書庫にて保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	適切に行えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		現状は行えていない、今後のかかわり方を検討していく必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルは全職員が見れる場所に配置している。研修訓練を毎月行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年に数回訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時及び面談時にアセスメントシートに記入している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	必要に応じ指示書に基づき対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を策定し訓練や研修を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	システムを利用しお伝えしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎日終礼時に振り返りを行っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	委員会の設置、研修を行い振り返りを行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束の研修を行っている。保護者様へは契約時にお伝えしている。		